

# ～恐怖の欠陥軍用機が八千代の空を飛ぶ!～ 11月からのオスプレイ飛行開始」を許すな!

## なぜオスプレイ配備と飛行に反対するのか?

陸上自衛隊が導入する17機のオスプレイの最初の2機が7月10日、木更津基地に配備されてしまいました。来年度内に全17機が配備される予定です。欠陥軍用機オスプレイに、すでに3600億円余りが費やされ、今後20年間で4600億円以上の整備費用が発生。たいへんな無駄遣いです。

この間、事故を繰り返し、米軍では死者が40名以上。日本以外で購入している国が無いという機体が飛ぶこととなります。オスプレイの場合、耳では聞こえない超重低音が窓のサッシや建物を振動させ、心身にも影響を与えられています。そして、ついに11月10日から試験飛行が開始されると防衛省が発表しました。

 ×17機  
=3600億円

さらに今後20年間で  
**4600** 億円以上



▲沖縄の海に墜落、大破したオスプレイ

## いま国民に必要なのは防衛費ではなくコロナ対策費だ!

国内外を問わず、現在の国民の大きな問題はコロナ禍です。国内感染者はついに10万人を超え、収束の道筋も見えていません。厚生労働省はコロナ禍による解雇や雇い止めが65000人を超えていると発表しています。多くの中小企業・個人事業主が深刻な経営難に苦しんでいます。政府はコロナ支援の補正予算3兆円を全国の自治体に交付しましたが到底足りま

せん。それにも関わらず、防衛費は8年連続で増加し今年度予算はなんと5兆3100億円です。

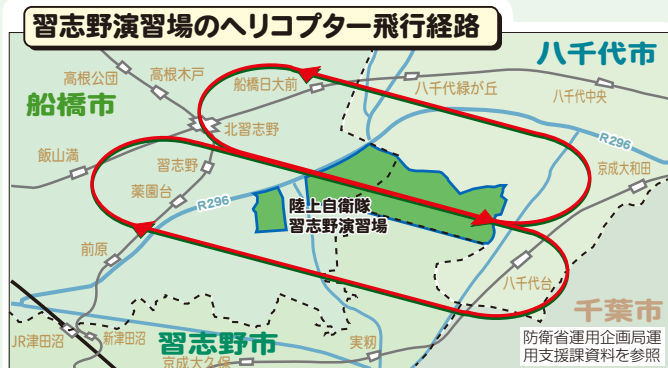
こんなものを買う予算があるなら、コロナ禍で苦しんでいる国民への生活支援や、経営難の中小企業・個人経営事業主への経営支援に使うべきです。市民の命と生活を脅かすオスプレイ購入費を即座にコロナ支援の予算に回すべきです。

## オスプレイ反対の市民集会に約600人の市民が参加

右図にあるように、習志野演習場への飛行ルートでは習志野市、八千代市、船橋市の上空をオスプレイが飛行することになります。しかし、これまで何度も墜落や故障を繰り返しているオスプレイが墜落しない保証はどこにもありません。3市とも住宅や学校などが密集している地域であり、墜落したら大惨事は免れません。

去る8月にはオスプレイ配備と飛行に反対する近隣住民によって「オスプレイいらない! 習志野・八千代・船橋ネットワーク」が結成されました。

11月7日には、薬円台公園にて市民集会とパレードが行われ、防衛省、習志野駐屯地指令に飛行中止の申し入れも行われました。引き続き市民の声でオスプレイ配備と飛行を中止させましょう。



- 発行:オスプレイいらない!八千代ネットワーク ●共同代表:大崎信・三田登
- 発行日:2020年11月10日 ●連絡先:090-6473-3172(三田)